

**後 期 基 本 計 画（素案）
目 標 指 標 設 定 調 書**

（第 1 章 関 連）

平成 2 3 年 6 月 2 9 日 現 在

目標指標設定調書

関連章名	快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	連携を考えた交通環境の整備を進めます
施策(項)名	道路網の整備
担当課	都市計画課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
幹線道路整備延長(都市計画道路)	km	10.0	17.1	17.1	17.1

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	周辺地域との広域的なネットワークを形成するため、町内外の移動をスムーズにする必要があります。幹線道路網の整備はその目的を達成するものであることから都市計画道路の整備延長を指標として設定した。	
2. 現状値	現状値	10.0km
	基準日	平成22年3月31日
	算出の根拠等	都市計画道路の整備延長(概成済含む)の合計値
3. 目標値	目標値	17.1km
	基準日	平成28年3月31日
	設定の根拠	かながわのみちづくり計画(平成19年～平成28年)によるもの

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間で踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値として設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	連携を考えた交通環境の整備を進めます
施策(項)名	道路網の整備
担当課	道路課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
町道整備延長	m	157,153	157,468	157,533	157,533

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	安心・安全なみちづくりをするため、効果的・効率的な道路整備工事の延長を指標として設定した。	
2. 現状値	現状値	157153
	基準日	平成22年3月31日
	算出の根拠等	1年間に道路整備工事を実施した延長。
3. 目標値	目標値	157533
	基準日	平成32年3月31日
	設定の根拠	効果的・効率的な道路整備工事の延長を目標値として設定した。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間で踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。
 なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値として設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	連携を考えた交通環境の整備を進めます
施策(項)名	道路網の整備
担当課	道路課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
歩道整備延長	m	28,217	28,637	28,787	28,787

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	安心・安全なみちづくりをするため、効果的・効率的な歩道整備工事の延長を指標として設定した。	
2. 現状値	現状値	28217
	基準日	平成23年3月31日
	算出の根拠等	1年間に歩道整備工事を実施した延長。
3. 目標値	目標値	28787
	基準日	平成33年3月31日
	設定の根拠	効果的・効率的な歩道整備工事の延長を目標値として設定した。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間で踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。
なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値として設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	連携を考えた交通環境の整備を進めます
施策(項)名	公共交通網の整備
担当課	企画調整担当

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値				目標値			
		H22	H26	H29	H32				
1日平均乗客人員数	人	10,318	10,586	10,801	11,030				

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	町内唯一の鉄道であるJR相模線は、町内外を結ぶ町民の足であり、輸送力増強を促進し、利便性の高い公共交通を目指すことで、都市基盤整備から見た町の魅力の向上・活性化を図ることができることから、その鉄道利用頻度を把握することで、公共交通網としての熟度を測る指標として、1日平均乗客人員数を設定した。				
2. 現状値	現状値	1日平均 10,318人(2010年度)			
	基準日	JR東日本の公表日			
	算出の根拠等	JR東日本のHPより引用			
3. 目標値	目標値	1日平均 11,030人(2020年度)			
	基準日	JR東日本の公表日			
	設定の根拠等	各駅の過去10年間の平均伸び率を算出し、今後ともその平均伸び率により推移するものとして推計した。 本来であれば、倉見ツインシティのまち開きや田端西地区の工業誘致などにより利用者の増加が見込まれるものの、現段階でその規模を見込むことはできないため、過去の推計に基づき算出した。 ただし、上記の開発等の進捗により大幅な利用者の増加が見込まれるも			

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間で踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。
なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	第1章快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	快適な生活環境の整備を進めます
施策(項)名	公園・緑地等の整備
担当課	都市計画課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
都市公園面積	m ²	186,775	187,000	188,000	191,000

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	水やみどりを生かした公園や緑地、緑道を整備し、町民が集い憩いの場とするために、「緑の基本計画」や「都市公園法」に基づく、1人当たりの公園面積10m ² に近づけるため都市公園の整備を行う。	
2. 現状値	現状値	都市公園全面積(186,775.33m ²)
	基準日	平成23年1月末現在
	算出の根拠等	公園31箇所・158,336.99m ² 緑地4箇所・4,829.65m ² 緑道4箇所・23,608.69m ² 合計面積・186,775.33m ²
3. 目標値	目標値	都市公園全面積(191,000.00m ²)
	基準日	各年度末
	設定の根拠	平成24年3月末までに寒川駅北口3号公園(300m ²)を整備し、平成25年3月末までには寒川駅北口2号公園(1,000m ²)も整備を行う。開発等による公園の帰属や新たな公園等の整備により公園等の面積増はあるが、平成32年までには、第4号相模川田端緑地(670m ²)や第5号相模川一之宮緑地(1,100m ²)の完成が見込まれる。1人当たりの公園面積を増やす。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	第1章快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	快適な生活環境の整備を進めます
施策(項)名	公園・緑地等の整備
担当課	都市計画課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
1人当たり公園等面積	m ² /人	3.8	3.8	3.8	4.0

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	水やみどりを生かした公園や緑地、緑道を整備し、町民が集い憩いの場とするために、「緑の基本計画」や「都市公園法」に基づく、1人当たりの公園面積10m ² に近づけるため公園等の整備を行う。		
2. 現状値	現状値	都市公園全面積186,775.33m ² ÷人口48,278人=3.8m ²	
	基準日	平成22年4月1日現在(住民基本台帳値)	
	算出の根拠等	公園31箇所・158,336.99m ² 緑地4箇所・4,829.65m ² 緑道4箇所・23,608.69m ² 合計面積・186,775.33m ²	
3. 目標値	目標値	都市公園全面積191,000.00m ² ÷人口47,709人=4.0m ²	
	基準日	各年4月1日	
	設定の根拠	平成24年3月末までに寒川駅北口3号公園(300m ²)を整備し、平成25年3月末までには寒川駅北口2号公園(1,000m ²)も整備を行う。開発等による公園の帰属や新たな公園等の整備により公園等の面積増はあるが、平成32年までには、第4号相模川田端緑地(670m ²)や第5号相模川一之宮緑地(1,100m ²)の完成が見込まれる。1人当たりの公園面積を増やす。	

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	快適な生活環境の整備を進めます
施策(項)名	下水道・河川の整備
担当課	下水道課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
雨水排水施設の整備率	%	46.53	58.57	58.92	59.32

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	浸水対策は、町民の生命・財産および交通・通信等の都市機能を浸水から守り、都市の健全な発達に必要なことから、雨水による浸水の解消の指標として雨水整備率を設定。	
2. 現状値	現状値	46.53%
	基準日	平成23年3月31日
	算出の根拠等	整備済み面積(525.76ha) ÷ 全体計画面積(1,130.0 ha) = 46.53%
3. 目標値	目標値	59.32%
	基準日	平成33年3月31日
	設定の根拠	今後平成32年度までの各年度事業費による整備面積による算定(全体計画:平成42年度) 計画整備面積(547.55ha) ÷ 全体計画面積(923.00 ha) = 59.32%

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間で踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。
なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値として設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	快適な生活環境の整備を進めます
施策(項)名	下水道・河川の整備
担当課	都市計画課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
河川の整備率	%	62	65	80	95

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	<p>快適な生活環境を確保するためには、大雨などによる水害から住民の生命財産を守ることが課題となっており、現在相模川及び小出川に未改修区域が存在する。河川(未改修区域)の整備が進むことによって水害の軽減が図られることから指標として設定した。</p>	
2. 現状値	現状値	62%
	基準日	平成22年9月30日
	算出の根拠等	国土交通省及び神奈川県からの情報提供によるもの
3. 目標値	目標値	95
	基準日	平成32年3月31日
	設定の根拠	相模川・小出川において、それぞれ河川整備計画が策定中であること、また相模川においてはさがみ縦貫道路事業により一定区域の整備が行われることを考慮し目標値を設定した。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	快適な生活環境の整備を進めます
施策(項)名	環境美化の推進
担当課	環境課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
自主的な環境美化活動の回数	回	62	70	76	82

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	美しく住みよい寒川を実現するため、町民・事業者等と町が協力して、環境美化に努めることを条例で定めています。環境美化の意識の高揚のため、町民・事業者等と町は様々な形でキャンペーンや啓発を行っているが、自主的な環境美化活動が定着し、増えることはめざす姿に結びついていくと考えられるので、指標として設定した。				
2. 現状値	現状値	62			
	基準日	平成22年3月31日			
	算出の根拠等	環境美化活動の申請回数と、環境美化活動を直接搬入によりごみ処理費用を減免により行っている回数。			
3. 目標値	目標値	80			
	基準日	平成33年3月31日			
	設定の根拠	事業所などへの啓発や河川美化活動などを啓発・支援することにより、現状より年間2件程度増加することを目標値として設定した。			

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

〔項目設定にあたっての留意事項〕

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値として設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	快適な生活環境の整備を進めます
施策(項)名	環境美化の推進
担当課	環境課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値			
		H21	H26	H29	H32
住民アンケートにおける環境美化に対する現状評価(十分・やや十分と回答)	%	54.5	59	62	65

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	快適な生活環境が保たれていることは、住民がどう感じているかが重要であると考え、平成21年度4月に実施した住民アンケート(2年毎)の現状評価を指標とした。				
2. 現状値	現状値	54.5			
	基準日	平成22年3月31日			
	算出の根拠等	住民アンケートの環境美化に対する現状評価で十分・やや十分と回答する割合。			
3. 目標値	目標値	65			
	基準日	平成33年3月31日			
	設定の根拠	住民アンケートの環境美化に対する現状評価で十分・やや十分と回答する割合が現状値より約10%増加することを目標として設定した。			

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

〔項目設定にあたっての留意事項〕

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値として設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	第1章 快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	第2節 快適な生活環境の整備を進めます
施策(項)名	第4項 住環境の向上
担当課	企画調整担当

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値				目標値			
		H21	H26	H29	H32	H21	H26	H29	H32
住民アンケートにおける住環境に対する現状評価	%	43.4	50	55	60				

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	良好な住環境の形成については、それぞれの主観的判断に依るところも多いため、施策推進を図る中で、総体的な判断を行うため、住環境の向上に対する住民アンケート結果を指標化した。	
2. 現状値	現状値	43.40%
	基準日	平成21年4月実施アンケート結果
	算出の根拠等	有効回答のうち、十分・やや十分と回答した人の比率
3. 目標値	目標値	60%
	基準日	平成32年度
	設定の根拠	平成26年度末までには、施策推進により半数の町民が住環境に対し十分・やや十分と感じられるよう推進し、以降各年度において5%ずつ増加を図る。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値として設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	第1章 快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	第2節 快適な生活環境の整備を進めます
施策(項)名	第4項 住環境の向上
担当課	都市計画課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
住居表示実施面積	ha	462.1	481.7	481.7	481.7

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	本町では、「住居表示に関する法律」に基づき、昭和61年に岡田地区で住居表示を実施したのを皮切りに、随時拡大を行ってきた。しかしながら、未だ大字の飛び地個所や、土地地番の不正列の箇所もあるため、住居表示実施面積を把握し、わかりやすい、見つけやすい住所になった地区の面積を測定するため設定した。	
2. 現状値	現状値	住居表示実施済面積(462.1ha)
	基準日	平成22年3月末現在
	算出の根拠等	住居表示実施済みの24町丁目、527街区の合計面積
3. 目標値	目標値	住居表示実施予定面積(481.7ha)
	基準日	各年度末
	設定の根拠	平成25年3月に予定している、寒川駅北口地区区画整理事業の換地処分に合わせ、事業区域面積 9.9haの住居表示を実施予定。同時に、岡田地区の住居表示未実施地区の一部 9.7haの住居表示を実施予定。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間で踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値として設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	快適な生活環境の整備を進めます
施策(項)名	住環境の向上
担当課	広報情報課

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
情報通信を利用したコンテンツ数	件	1	3	10	20

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	報通信基盤の活用のため、町ホームページをに双方向で情報交換の可能なコンテンツを設置する	
2. 現状値	現状値	1件
	基準日	平成22年4月1日
	算出の根拠等	ホームページに双方向通信の可能なコンテンツ設置件数
3. 目標値	目標値	20件
	基準日	平成32年12月31日
	設定の根拠	技術革新が早く、利用する方法を固定することは得策とならないため、当面は町ホームページに双方向情報交換ツールを設置し、利用者の状況を調査していく

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

関連章名	快適でにぎわいのあるまちづくり
関連節名	魅力ある市街地の整備を進めます
施策(項)名	市街地整備の推進
担当課	寒川駅周辺整備事務所

■ 目標とする指標

指標名	単位	現状値	目標値		
		H22	H26	H29	H32
寒川駅北口地区土地区画整理事業の整備率	%	89	100	100	100

■ 目標とする指標の根拠

1. 項目設定の考え方	寒川駅北口に面した地区9.9haについて、土地区画整理事業を契機に商業環境、住環境の整備を進め、町の玄関口、中心市街地にふさわしい都市施設の整備を行う。都市施設として駅前広場、公園、都市計画道路、宅地整地、歩道の整備があり、この整備の進捗率を指標として設定した。	
2. 現状値	現状値	89%
	基準日	平成22年3月31日
	算出の根拠等	施設整備進捗状況による。
3. 目標値	目標値	100%
	基準日	平成26年3月31日
	設定の根拠	施設整備進捗状況による。

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間で踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。